

教員のためのTo-Doリスト

～生徒とともに成長するために～
〔詳細版〕

平成27年3月
兵庫県教育委員会

1. はじめに

「兵庫版基本 CAN-DO リスト」は、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を総合的に育成する指導を充実させるために開発されました。本リストを活用し、これまで以上に英語の指導を充実させるためには、一人一人の教員が、これまでの指導を振り返ることはもちろんのこと、個人単位ではなく、学校全体（英語科全体）として、各学校で育成すべき英語力について考え、話し合い、目標を明確化することが必要不可欠です。

「教員のための To-Do リスト」は、今後、県立高等学校及び中等教育学校において、実際に学校独自の CAN-DO リストを作成・活用していく際、できるだけ円滑に、かつ効果的に指導の充実が行われるよう、英語教員に求められる指導力を明示したり、それを支える基礎知識や技術の振り返り、そして同僚との協働を促進するために作成しています。

リストには「詳細版」と「簡略版」の2種類があります。「詳細版」には、CAN-DO リストの背景にある考え方や指導のポイントが詳しく書かれています。一方、「簡略版」は、フローチャート形式になっており、CAN-DO リストを作成・活用する際に、確認すべき項目を一目でわかるようにまとめています。用途によって使い分けて活用してください。

2. CAN-DO リストがもたらす変化

CAN-DO リストを活用する場合、授業の中に CAN-DO リストのディスクリプタに相当する言語活動を取り入れていくことが必要不可欠となります。その場合、授業の中に「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を生徒が実践する場を設定しなければなりません。CAN-DO リストを活用する上で、最も重要なポイントは、このような場の設定を実際の授業の中で行うことができるかどうかにあります。

(1) 授業設計

これまで授業を設計し、各授業の計画を考える際、生徒に身につけさせたい力を、例えば「使用している教科書の文法事項が定着している」としていたとします。この場合、知識の理解だけにとどまっているのか、あるいは、その知識を活用できるところまで目指しているのか、一体どちらでしょうか。また、実際に定着させるためには、授業でどのような指導を行えばよいのでしょうか。例えば Lesson 1 で、「make+目的語+補語」を扱う場合、これを定着させるための授業展開として、本文で“Her smile made me happy.”という一文があったとしたら、“Who is your favorite person?”という質問をペアで行わせ、その中で“Why do you like that person?”と尋ねさせます。その後“Because his songs make me happy.”と答えさせる活動につなげるなどの方法が考えられます。こうした活動を行うことで定着の度合いを高めることができます。加えて、この活動は、「聞くこと」「話すこと」という2技能を用いていますので、こうした活動を経験した生徒は、「兵庫版基本 CAN-DO リスト」にある「簡単な語句を使って、自分の感情や感謝の気持ちなどを表現することができる」(話すこと: 3)

というディスクリプタを読んで、自分が英語で自分の気持ちを表現できるかできないか判断することができます。さらに、このディスクリプタを最初から授業の目標として設定しておけば、こうしたペア活動を明確なねらいを持って授業に導入し、生徒の定着の度合いを把握することができます。

この例からも分かるように、授業設計のときの目標設定に CAN-DO リストのディスクリプタを加えることで、生徒の英語の知識理解を4技能のいずれかの形で表出させ、その定着の度合いを測ることができるようになります。

このように、授業設計や各授業計画の段階で、CAN-DO リストのディスクリプタを取り入れることにより、授業の目標が明確になり、授業計画を立てやすく、さらに生徒の定着の度合いなどを詳細に把握することができます。ディスクリプタを目標に取り入れた授業計画ができれば、あとはそれを実践すれば、必然的に4技能がバランスよく取り入れられた授業になり、授業改善が現実のものとなります。つまり、授業改善のカギを握るのは、授業設計時に CAN-DO リストのディスクリプタを目標設定に反映するかどうかにあります。

(2) 評価

CAN-DO リストを活用して授業設計の改善を行うことにより、実際の授業に4技能を育成する言語活動が取り入れられると、次は「評価」について考える必要があります。4技能を使った言語活動を授業の中で行っていくと、「指導と評価の一体化」の観点からすると、適切にそれら进行评估していくことが求められます。しかし、教員にとって、「話すこと」「書くこと」の2技能を適切に評価することは容易なことではありません。

それでは、この2つの技能を効率良く評価する方法を考えてみましょう。一つはALTの活用です。配置校ではなく、週に2日しかALTが来ないという訪問校であっても、工夫次第でALTを活用した「話す」・「書く」に関する評価を行うことができます。例えば、スピーキングテストの生徒一人当たりの持ち時間を1分に設定しておけば、1クラス40人のテストは、授業1時間で行うことができます。また、エッセイライティングなども、語数を短く指定した上で、簡潔に考えをまとめさせて書かせると、採点するALTの負担も軽減されるでしょう。こうしたALTの活用を円滑に進めるには、特に、評価基準として「ルーブリック（評価基準表）」などを日本人教員とALTが協議して作成しておくことが望ましいでしょう。

二つ目はポートフォリオ評価です。これは生徒が作った作品をファイルなどに全て綴じさせ、例えば、学期末や学年末に作品を振り返らせる機会を与えることを行う評価です。生徒が自分の成長を実感することで、動機付けが高まり、効果的な評価の一つとされています。

三つ目は、CAN-DO リストを用いた生徒による自己評価です。自己評価は、CAN-DO リストの最も効果的な活用と言えます。これは、生徒が、自分自身を評価するので、基本的には教員の負担はありません。授業中に4技能を取り入れた活動を行っているが、スピーキングテストなどのパフォーマンステストを定期的に行うことが困難である場合、生徒が自己評価を行うだけでも、自分の成長を実感し、自己肯定感や動機付けが高まる機会を得ることが

できます。

3. 教員のための To-Do リスト

それでは、実際に「兵庫版基本 CAN-DO リスト」を活用する際に、どのような視点を持つ必要があるか、To-Do リスト形式で確認していきます。

A 授業設計に関して

1. 勤務している学校で育てたい生徒像を明確に思い描いている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

*勤務校で育てたい生徒像を記入してみましょう。

--

2. 勤務している学校で、育てたい生徒像に生徒を育成するうえで英語教育の果たす役割を理解している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

*英語教育の果たす役割について記入してみましょう。

--

3. 2で述べた英語教育の果たす役割について、具体的にどの程度の英語力（4技能とそれ以外）を育成する必要があるか理解している。

※ ここで「兵庫版基本 CAN-DO リスト」及び「英語学習を支える3領域チェックリスト」を参照してもかまいません。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

* 4技能等について記入してみましょう。

聞く
話す
読む
書く
それ以外

※ ここまでの作業で「兵庫版基本 CAN-DO リスト」をベースにして各学校の実情に合わせた独自の CAN-DO リストを作るための前提となる作業が終わりました。ここに記述した内容を英語科や学校全体で協議するなどして教員同士が合意に至ることが大切です。ここで得られた明確な目標をもとに各学校の CAN-DO リストを作成してください。

4. 作成した学校独自の CAN-DO リストを授業計画の中に取り入れている。

※ CAN-DO リストから授業を作るという意味ではなく、これまで曖昧であった授業目標に CAN-DO ディスクリプタを一部目標として加えることで授業目標をより明確にするということです。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

B 授業に関して

<全般にわたって>

1. 4技能の使用場면을バランスよく授業の中に取り入れている。

※ これは必ずしも1時間の授業に4技能の使用場面が均等に入っていないければならないということではありません。学期や年度を通じて4技能がバランスよく伸びるように使用場面を設定することが望ましいでしょう。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 生徒が自律的に学習を進めていくことを促すため、学習方略を適宜生徒に教えている。

※ 「学習方略を教える」とは簡単に言えば、“learning how to learn（学び方の学習）”を生徒に教えるということです。例えば単語の知識は、単語の覚え方を生徒に教えることで効率的に増やすことができるでしょう。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. 生徒が自己評価の時にディスクリプタに書かれていることができるかどうかを判断できるよう様々なレベルの活動を授業中に生徒に提供している。

※ 仮にある一定のレベルだけを狙って1年間そのレベルだけの活動を授業内で行った場合を考えてみましょう。すでにそのレベルをクリアしている生徒やそのレベルにはるかに及ばない生徒は授業に興味を持ち続けることができるのでしょうか。実際の学校現場ではさまざまなレベルに生徒が分散しているのが一般的です。それなら、さまざまなレベルの活動を授業内で提示し、生徒全員が自分たちのレベルに相当する活動を一度でも経験するよう仕掛けることで学期末や年度末の自己評価の姿勢が変わり、次のレベルに向かうには何が必要か考えるようになると思われます。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. 家庭学習の習慣を確立して自律的に学習を進められるよう適切な宿題を効果的に課している。

※ 英語力を伸ばすには当然授業だけでは時間が足りません。課す宿題が生徒の英語力を伸ばすのに役立つものであり、かつ生徒がこの宿題をやれば英語力が伸びるということをつかっていた状態で取り組むのが理想的です。そのためには生徒の能力に合った教材の選定と、その宿題の意義を説明する時間を設ける必要があります。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

<聞くこと>

1. 授業にリスニング活動を取り入れるための教室の雰囲気作りをしている。

※ 例えば、授業開始時の教師による英語のあいさつや、英語での指示や問いかけなどで、生徒の耳を英語に慣らす工夫をすることなどが考えられます。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 授業でペアワークやグループワークを行い、生徒が互いの話を聞き取る機会を設けている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. ALTに自己紹介や異文化の紹介をしてもらうなど、ネイティブスピーカーの話す英語に生徒が触れる機会を設けている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. 生徒の理解度を把握した上で、英語の表現の言い換えや説明、繰り返しあるいは速度調整などを行って発話している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

5. 英語のアナウンスや天気予報、洋画、海外ドラマ、海外ニュースなどのリスニング教材を適宜準備して授業で使用している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

6. 聞いた内容について、生徒の意見や考えをアウトプットさせる機会を設けている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

<話すこと>

1. 授業にスピーキング活動を取り入れるための教室の雰囲気作りをしている。

※ 例えば、教員が“Let’s begin.”と言って英語で授業を始める、教員が“Let’s talk in English with your partner.”と言った場合は、日本語を話してはいけないルールを設けるなど。また生徒同士が英語で話すことを恥ずかしがることがないように、難しい活動の前には簡単にできるウォームアップを取り入れるなどの工夫が必要です。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 授業にペアワークやグループワークを導入し、生徒同士が会話を行う機会を設けている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. Show & Tell、スピーチ、ディベート、プレゼンテーションなどのスピーキング活動に関する知識があり、活動に必要な機材や教材を含む準備を適宜行っている。

※ プロジェクターなどの機材が必要な活動も想定されます。また、発表原稿作成のために調べ学習が必要になる場合が多いので、授業でコンピュータ室に生徒を集めパソコンで調べ物をさせる場合はパソコン教室の利用方法も教員が把握しておく必要があります。生徒に意見や考えを述べさせるために、読ませたり、視聴させる教材なども準備することが求められます。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. Show & Tell、スピーチ、ディベート、プレゼンテーションなどのスピーキング活動に関する知識があり、生徒にそれぞれの形式に応じた指導を行っている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

※ Show & Tell、スピーチ、ディベート、プレゼンテーションに関する知識を整理してみましよう。

スピーキング活動	準備物	方法
Show & Tell		
スピーチ		
ディベート		
プレゼンテーション		

5. 発音やリズム、イントネーションを含む音声指導をしている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

6. ボディーランゲージなど非言語コミュニケーションについて知識があり、生徒に指導している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

7. 生徒に実践させるスピーキング活動の手本を適宜生徒に示している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

<読むこと>

1. 授業に音読指導を導入し、発音やリズム、イントネーションに注意させている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 生徒のレベルに応じたリーディング教材を準備している。

※ 教科書以外の教材で教科書の内容に関連した題材を扱った読み物や記事を生徒のレベルに合わせてALTに書き直してもらったり、学習者向けの教材から関連する読み物や記事を生徒に提供することなどが考えられます。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. 段落の構成を意識しながら読むことで筆者の主張をくみ取ることができるなど、読み方のポイントを授業中に生徒に指導している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. 説明文、評論、物語、随筆など幅広いジャンルのリーディング教材を生徒に読ませている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

5. 読んだ内容について、生徒の意見や考えを、発表や感想文などの形でアウトプットさせる機会を設けている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

<書くこと>

1. 生徒のレベルに合わせた英作文の題材を与えている。

※ 初級レベルの場合は自己紹介など自分について、中級では自分が住む町について、上級レベルでは日本社会について、などのレベル設定が考えられます。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 聞いたり読んだりした内容について書く機会を与えている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. 読み手に伝わる表現方法を教えている。

※ 初級レベルの場合は、英語では主語や目的語を明示する必要があることを、中級レベルでは and など接続詞を用いると文のつながりが分かりやすくなることを、上級レベルではパラグラフの構成や文章の構成には型があることを伝えることなどが考えられます。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. ALT などの力を借りてネイティブスピーカーならではの表現を生徒が学ぶ機会を提供している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

C 評価に関して

1. 生徒が自分自身の英語力を把握し、自律的に成長できるよう自己評価の機会を与えている。

※ 学期末や学年末だけでなく毎回の授業後に振り返りの時間を持たせることができれば理想的です。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 生徒が自分のレベルを把握し、次のレベルに進むための指導や助言を適宜行っている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. 生徒の自己評価結果を分析して、授業設計や授業改善につなげている。

※ 初めて自己評価を実施した場合、様々な要因から教員の生徒に対する評価と生徒自身の自己評価に乖離がみられることが想定されます。これは自己評価を重ね、さらに教員による評価を行い、フィードバックを与えることで少しずつ解消されていきます。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

*生徒の自己評価の概要と分析を実際に行って改善策を考えてみましょう。

自己評価結果概要	分析（評価結果から分かる事）	改善策

4. パフォーマンス評価を行っている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

* 4技能をそれぞれ測るパフォーマンス評価を整理しましょう。工夫次第で1つの評価方法で複数の技能を同時に測ることもできます。

4技能	評価基準	評価方法
聞く		
話す		
読む		
書く		

5. ポートフォリオ評価など、他の評価も活用して生徒の英語力を多面的に評価している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

*生徒の英語力を測るのに有効な評価方法を挙げて整理してみましょう。

評価の種類	評価の対象	評価方法

6. ALT に評価を依頼する際、評価方法などについて ALT と協議している。

※ 例えばスピーキングテストのルーブリックを日本人教員が作るのか、共同で作るのかなど話し合いの場を設けることが必要です。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

7. 評価を行い、その結果を授業改善につなげている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

〈参考文献〉

・ JACET 教育問題研究会 編 (2014) 「言語教師のポートフォリオ (J-POSTL)」

教員のための To-Do リスト「簡略版」～生徒とともに成長するために～

学校独自の CAN-DO リストを作る手順

A 授業設計に関して

1. 勤務している学校の育てたい生徒像を明確に思い描いている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

*勤務校で育てたい生徒像を記入してみましょう。

--



2. 勤務している学校で、育てたい生徒像に生徒を育成するうえで英語教育の果たす役割を理解している。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

*英語教育の果たす役割について記入してみましょう。

--



3. 2 で述べた英語教育の果たす役割について、具体的にどの程度の英語力（4 技能とそれ以外）を育成する必要があるか理解している。※ここで「兵庫版基本 CAN-DO リスト」等を参照してもかまいません。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

* 4 技能等について記入してみましょう。

聞くこと
話すこと
読むこと
書くこと
それ以外

以上の作業で「兵庫版基本 CAN-DO リスト」を基にして各学校の実情に合わせた独自の CAN-DO リストを作るための前提となる作業が終わりました。ここに記述した内容を英語科や学校全体で協議するなどして教員同士が合意に至ることが大切です。これらの明確な目標をもとに各学校の CAN-DO リストを作成してください。

4. 作成した学校独自の CAN-DO リストを授業計画の中に取り入れている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

B 授業に関して

<全般にわたって>

1. 4 技能の使用場面をバランスよく授業の中に取り入れている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

2. 生徒が自律的に学習を進めていくことを促すため、学習方略を適宜生徒に教えている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

3. 生徒が自己評価の時にディスクリプタに書かれていることができるかどうかを判断できるよう様々なレベルの活動を授業中に生徒に提供している。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

4. 家庭学習の習慣を確立して自律的に学習を進められるよう適切な宿題を効果的に課している。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

<聞くこと>

1. 授業にリスニング活動を取り入れるための教室の雰囲気作りをしている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

2. 授業でペアワークやグループワークを行い、生徒が互いの話を聞き取る機会を設けている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

3. ALT に自己紹介や異文化の紹介をしてもらうなど、ネイティブスピーカーの話す英語に生徒が触れる機会を設けている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

4. 生徒の理解度を把握した上で、英語の表現の言い換えや説明、繰り返しあるいは速度調整などを行って発話している。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

5. 英語のアナウンスや天気予報、洋画、海外ドラマ、海外ニュースなどのリスニング教材を適宜準備して授業で使用している。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

6. 聞いた内容について、生徒の意見や考えをアウトプットさせる機会を設けている。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| ①十分している | ②まあまあしている | ③あまりしていない | ④全くしていない |
|---------|-----------|-----------|----------|

<話すこと>

1. 授業にスピーキング活動を取り入れるための教室の雰囲気作りをしている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 授業にペアワークやグループワークを導入し、生徒同士が会話を行う機会を設けている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. Show & Tell、スピーチ、ディベート、プレゼンテーションなどのスピーキング活動に関する知識があり、活動に必要な機材や教材を含む準備を適宜行っている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. Show & Tell、スピーチ、ディベート、プレゼンテーションなどのスピーキング活動に関する知識があり、生徒にそれぞれの形式に応じた指導を行っている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

5. 発音やリズム、イントネーションを含む音声指導をしている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

6. ボディーランゲージなど非言語コミュニケーションについて知識があり、生徒に指導している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

7. 生徒に実践させるスピーキング活動の手本を適宜生徒に示している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

<読むこと>

1. 授業に音読指導を導入し、発音やリズム、イントネーションに注意させている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 生徒のレベルに応じたリーディング教材を準備している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. 段落の構成を意識しながら読むことで筆者の主張をくみ取ることができるなど、読み方のポイントを授業中に生徒に指導している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. 説明文、評論、物語、随筆など幅広いジャンルのリーディング教材を生徒に読ませている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

5. 読んだ内容について、生徒の意見や考えを発表や感想文などの形でアウトプットさせる機会を設けている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

<書くこと>

1. 生徒のレベルに合わせた英作文の題材を与えている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 聞いたり読んだりした内容について書く機会を与えている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. 読み手に伝わる表現方法を教えている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. ALTなどの力を借りてネイティブスピーカーならではの表現を生徒が学ぶ機会を提供している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

C 評価に関して

1. 生徒が自分自身の英語力を把握し、自律的に成長できるよう自己評価の機会を与えている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

2. 生徒が自分のレベルを把握し、次のレベルに進むための指導や助言を適宜行っている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

3. 生徒の自己評価結果を分析して、授業設計や授業改善につなげている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

4. パフォーマンス評価を行っている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

5. ポートフォリオ評価など、他の評価も活用して生徒の英語力を多面的に評価している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

6. ALTに評価を依頼する際、評価方法などについてALTと協議している。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

7. 評価を行い、その結果を授業改善につなげている。

①十分している	②まあまあしている	③あまりしていない	④全くしていない
---------	-----------	-----------	----------

